

社会医療法人大雄会 総合大雄会病院

病院長名 高田 基志

所在地 〒491-8551
愛知県一宮市桜一丁目9番9号

交通案内 「名古屋駅」もしくは「岐阜駅」から
JR「尾張一宮」まで約8分
JR「尾張一宮」駅から徒歩約10分



病院の特徴

総合大雄会病院の歴史は、1924年から始まり95年以上に渡って、地域の人々の健康を守るという重要な役割を担い続けてきました。

救急医療、先進医療、予防医療を柱とする急性期医療を担っており、平成22年に3次救命救急センター、平成23年には地域医療支援病院の指定も受けています。

設備に関しては320列CT、PET-CT、MRI、放射線治療機器などの最新医療機器も導入されており、ICU、HCU、手術室、アンギオ室なども充実しています。また、重症患者の受け入れのために屋上にはヘリポートも完備しています。さらに、一般外来専門の大雄会クリニックや透析センター・健診センターを持つ大雄会第一病院が近接しており、互いに連携して診療活動を行っています。

研修の特徴

① 人口約51万人の尾張西部医療圏の中核を担う379床の急性期病院です。三次救命救急センターとして、重症外傷、急性腹症を多数受け入れ、高度な外傷診療だけでなく、一般外科と合同でいつでも緊急手術ができる体制を整えているため、経験値の幅が広がります。

【研修医OBの声】

救急科指導医の下、高次医療から一般症例まで幅広く様々な経験ができます。

② 研修体制を改善する指導医グループが研修をサポートします。

【研修医の声】

仕事や進路相談等、親身に対応して下さいます。

③ 選択研修期間に将来のキャリアに繋がる診療科研修も可能なプログラム構成。

【研修医の声】

選択期間のローテート科は一方的に決められた予定ではなく、相談して決めることができます。今後の医師としての強みとなるような特技が身に付けられると思います。



メッセージ

指導医（プログラム責任者 武鹿 良規）

鉄は熱いうちに打て!正に初期臨床研修に当てはまる言葉だと思います。鉄を良く打って、焼きを入れて、水につける…まるで拷問(!?)のようですね…。鉄は熱いうちによく打つことで不純物が外にでて、純度の高い、柔軟性のある鋼に生まれ変わります。さらに焼きを入れて水や油で冷却することで、より硬度の高い鋭利な刃となります。臨床研修も同じで、たくさんの症例を経験することで、臨床で必要な、幅広い知識と技術が身に付きます。時に指導医からの厳しい指導を受けますが、その先には成長した姿があります。その成長した姿に指導医と共に喜びの涙(?)を流します…。2年間は短いですが、とても重要な時期だと思います。充実した研修、生活が送れるように全力で見守っていきます。



研修医

大雄会の研修では昼間のローテート科での研修もそうですが、当直の救急外来での研修が、自分を大きく成長させてくれました。救急外来では、切創や挫創、打撲骨折といった外科症例から、上気道炎、肺炎、胆嚢炎や虫垂炎など、時には大動脈解離やSTEMIなど重症症例もウォークインで来られます。どんな症例がくるかわからないという緊張感や不安が自分を成長させてくれました。病院は大規模ではありませんが、それが逆に上級医への相談しやすい環境となり、また手厚くサポートして下さいました。自分ができない事、知らない事を知り、それを一緒に学んでくれた同期、適切なアドバイスを頂いた研修医の先輩方、また適切なフィードバックをして頂いた上級医の先生。2年間の研修の中で学んだ事、またその過程、全てが今の自分にとって大切な経験でした。



募集要項

採用実績	2021年度 6人 ・ 2022年度 6人
給与/月額	1年次 289,062円 ・ 2年次 312,500円 (※手当含まず) 1年次年収 約6,185,000円 2年次年収 約7,675,000円
当直回数/月	5回
当直料/回	1年次 15,000円 ・ 2年次 25,000円
その他	賞与有、学会補助有、福利厚生有
応募連絡先	担当者 臨床研修センター 地嶋 (ちづき)
	電話番号 070-6985-8303 (直通)
	Eメール resident-c@daiyukai.or.jp